

誰もが自律的なキャリアを築ける世の中へ

# 「フリーランス白書2019」概要

#### フリーランス白書2019 目次



第1章	はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 4
第2章	調査結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
2-1	総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
2-2	フリーランスパネル ・・・・・・・・・・・・・・	P. 7
2-3	会社員パネル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 18
第3章	フリーランスと会社員の比較 ・・・・・・・・・・・	P. 28
3-1	解説 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	P. 28
3-2	総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 29
3-3	勤務時間、収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 31
3-4	満足度、スキルに対する意識 ・・・・・・・・・・	P. 34
3-5	ワークエンゲージメント、キャリア自律、専門性コミットメン	<b>/</b>  -
		P. 36
第4章	フリーランスの課題 ・・・・・・・・・・・・・・	P. 40
4-1	新しい働き方を日本で選択しやすくするために ・・・・・	P. 40
	働き方に中立な社会保障制度の確立に向けて ・・・・・・	D 4 F
4-2	関さ刀に中立な仕去体隍削及の唯立に回りし、・・・・・・	P. 45
4-2 第5章	働さ力に中立な社会保障制度の確立に向りて ・・・・・・ 企業がフリーランスを効果的に活用するために ・・・・・・	P. 45 P. 49
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
第5章	企業がフリーランスを効果的に活用するために ・・・・・	P. 49
第5章 5-1	企業がフリーランスを効果的に活用するために ・・・・・ より良いフリーランス活用のための8つのポイント ・・・・	P. 49 P. 49

※ページ番号は「フリーランス白書2019」全文掲載時

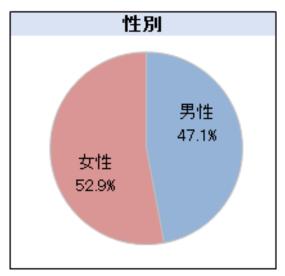
全文ダウンロードはこちらから <a href="https://blog.freelance-jp.org/survey2019/">https://blog.freelance-jp.org/survey2019/</a>

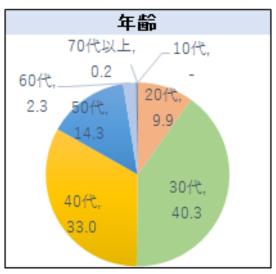


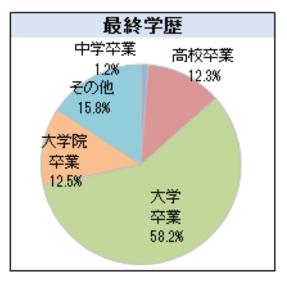
# 調査結果

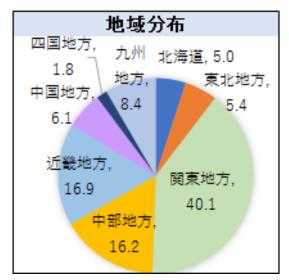
### フリーランスパネル 回答者属性

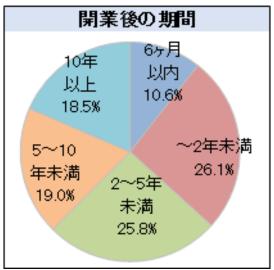


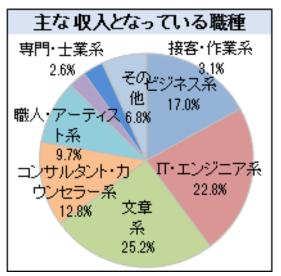








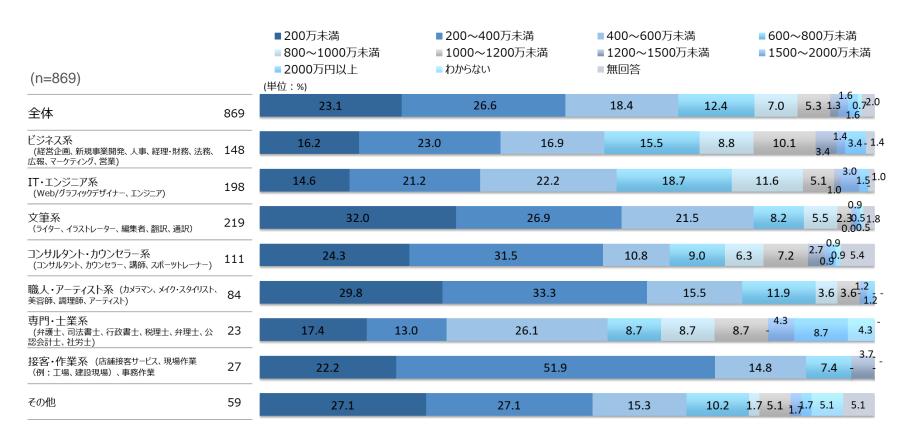




#### フリーランスの職種別年収構成



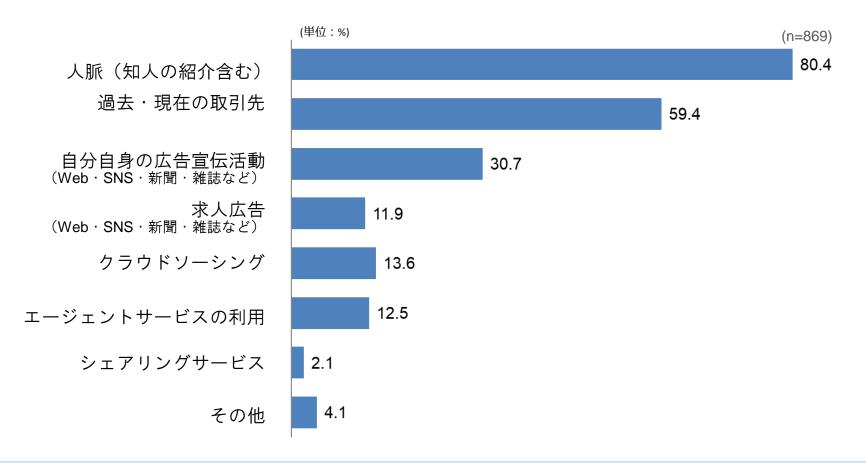
- 昨年同様、業界や職種により年収が大きく異なることが示された
- 年収が比較的高いのは「ビジネス系」「IT・エンジニア系」「専門・士業系」フリーランスで、取引先が主に法人であることが共通項
- 「コンサルタント・カウンセラー系」は、年収400万円以下が半数を超える 一方で、高収入の人も多い



#### 過去一年以内に仕事獲得につながった実績のある経路 📫



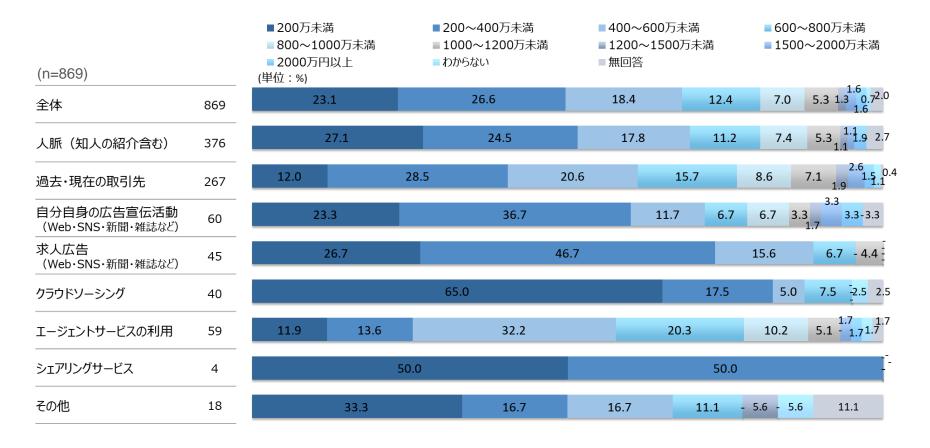
- 昨年と同様、人脈や過去・現在の取引先などから仕事を得ている人が多い
- シェアリングサービスのユーザーは自身を「フリーランス」だと認識していない人も多いため、フリーランス(だと自覚する人)を対象とした本調査の回答者に入っていない可能性がある



#### 「最も収入が得られる仕事獲得ルート」別年収構成



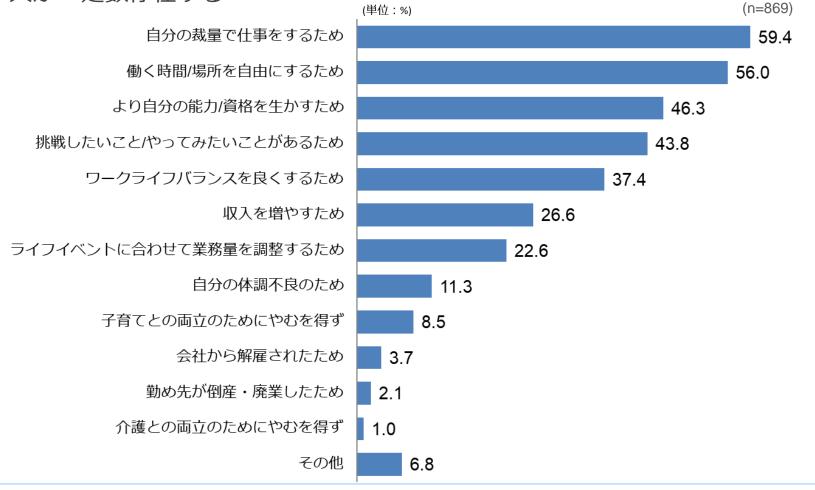
- 稼ぎの中心となっている仕事獲得経路によって、収入に大きなバラつき
- 主な収入源として400万円以上稼げるのは、回答者が多い順に「エージェントサービス」(年収400万円以上が71.2%)、「過去・現在の取引先」 (58.0%)、「人脈」(45.8)、「自分自身の広告宣伝活動」(36.7%)



#### フリーランスが今の働き方を始めた理由



● 仕事内容や働き方などについて自己決定できることを求めてフリーランスになった人が多い一方、体調不良、子育て・介護との両立、勤め先の解雇や倒産といった、非自発的な理由でやむを得ずフリーランスになっている人が一定数存在する



#### フリーランスの独立前後の変化



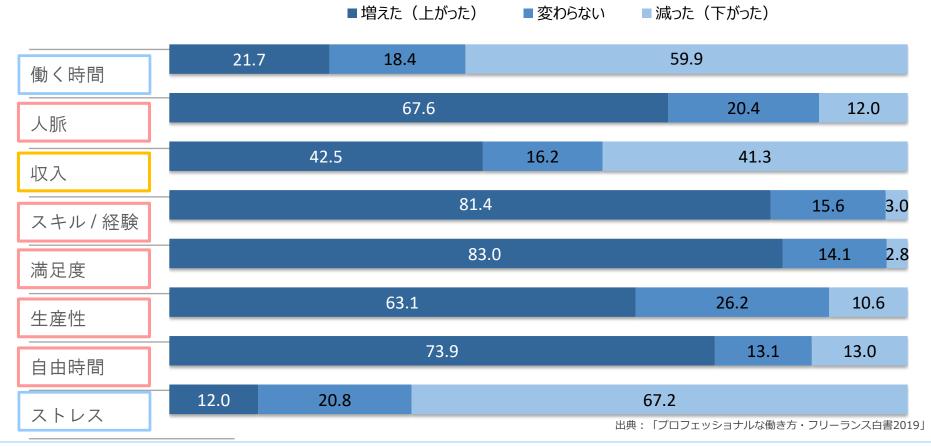
Q. 会社員時代に比べて、増えた(上がった)/減った(下がった)ものは? ※前問で「1つの会社に所属していたことがある」と回答された方



→減った :働く時間、ストレス

増えたと:人脈、スキル/経験、満足度、生産性、自由時間

個人差あり: 収入

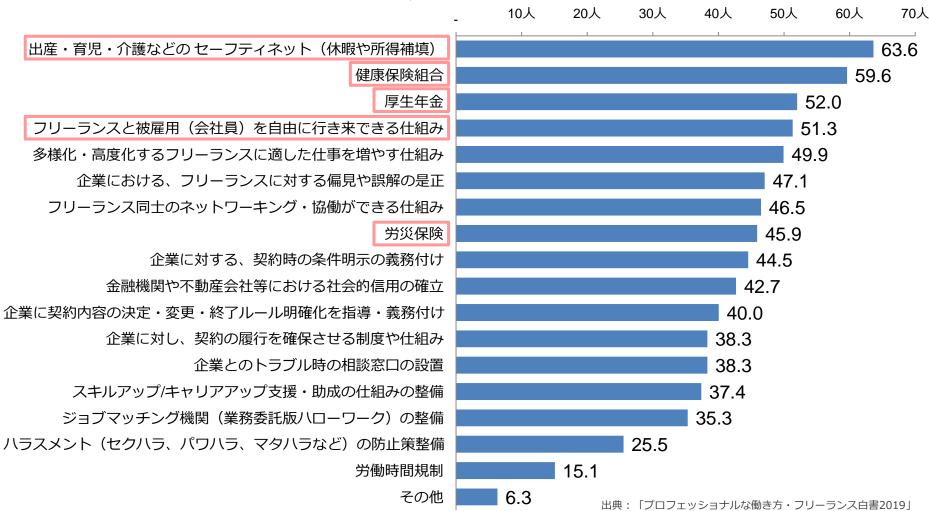


#### 当事者たちの課題認識

# n=869

#### Q.:フリーランスや副業をするといった新しい働き方を 日本で選択しやすくするためには、何が必要だと思いますか?

→ライフリスクに回答が集中。社会保険のポータビリティを求める声も。



## 今の働き方(フリーランス)を続けていくうえで 障壁になっているもの



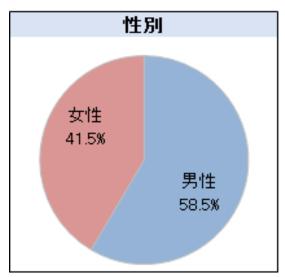
収入の不安定さ、バックオフィス作業の煩雑さ、社会的信用の低さなどを 課題と考える人が多い

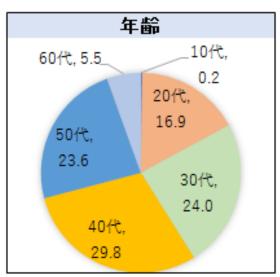
● 収入の多寡に関わらず、基本的に「来た仕事を請ける」となりがちなため、 業務の平準化が難しい

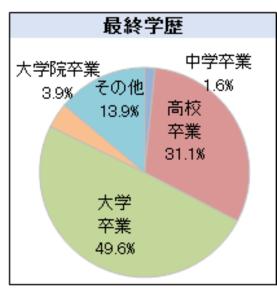


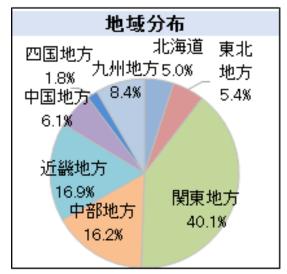
#### 会社員パネル 回答者属性

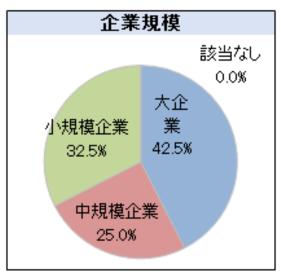


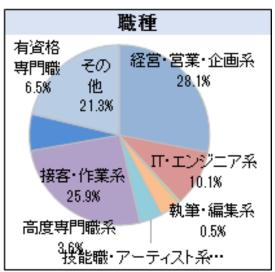








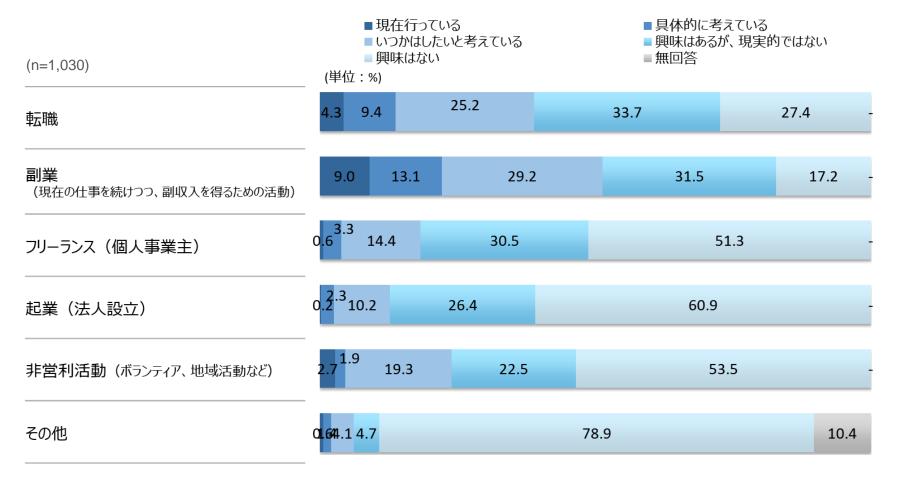




#### 会社員の新しい働き方に対する興味・関心



● 副業を「現在行っている」人、「具体的に考えている」人、「いつかはしたいと考えている」人の合計は51.3%で、過半数の人が副業に対して前向きな反応であった。一方、「興味はない」人も2割ほど存在している



#### 会社員の新しい働き方に取り組む理由



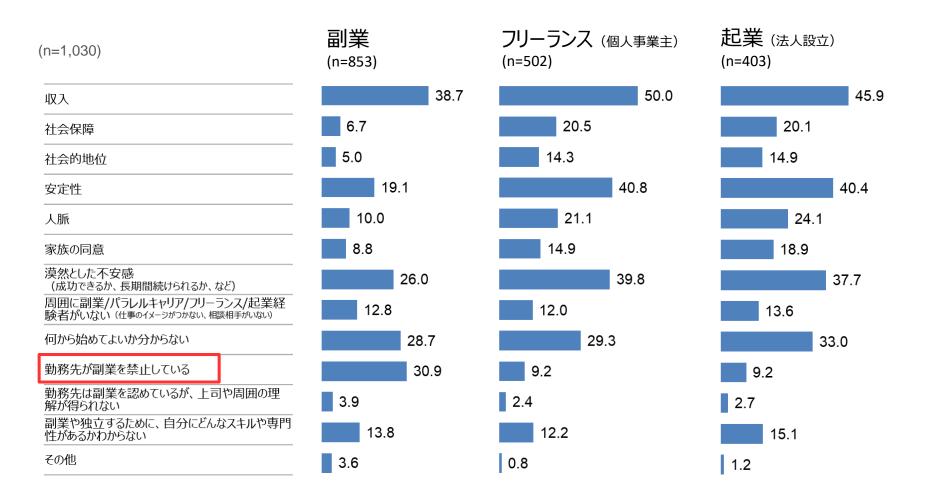
- 副業を考える会社員の85%が収入を増やすことを目的としている
- 一方、フリーランス・起業を考えている人では、収入増加を目的とする人は 4割程度で、裁量や働き方の柔軟性を求める人がそれぞれ3割前後に上る

(n=1,030)	転職	副業 (現在の仕事を続 けつつ、副収入を 得るための活動)	フリーランス (個人事業主)	起業 (法人設立)	非営利活動 (ボランティア、 地域活動など)	その他 【Q11S6FAの選択 内容】
※複数回答	n=748	n=853	n=502	n=403	n=479	n=110
収入を増やすため	59.4%	85.9%	39.8%	43.9%	4.2%	30.9%
より自分の能力/資格を生かすため	27.4%	12.7%	24.7%	28.3%	18.0%	19.1%
自分の裁量で仕事をするため	13.9%	7.5%	35.1%	35.0%	9.4%	13.6%
ワークライフバランスを良くするため	30.7%	11.8%	21.9%	<b>15</b> .9%	18.6%	16.4%
ライフイベントに合わせて業務量を調整するため	13.4%	4.9%	12.5%	10.7%	8.6%	15.5%
働く時間/場所を自由にするため	28.6%	12.9%	28.3%	23.1%	7.5%	12.7%
挑戦したいこと/やってみたいことがあるため	15.2%	8.8%	16.7%	21.8%	42.4%	18.2%
その他	3.1%	0.8%	1.2%	2.2%	7.9%	3.6%

#### 会社員が新しい働き方に挑戦する際の障壁



● 副業を考えていると回答した人の30.9%が、勤務先による副業禁止が 障壁と回答している





## フリーランスと会社員の比較

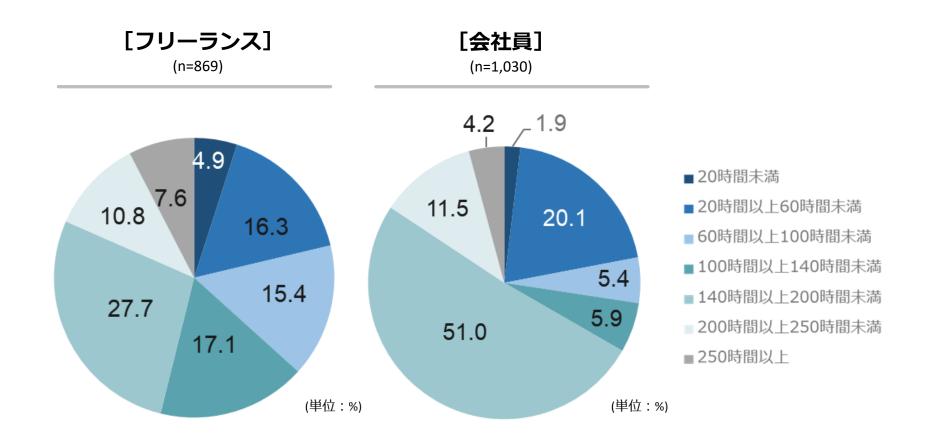
#### フリーランスと会社員の月平均勤務時間の比較







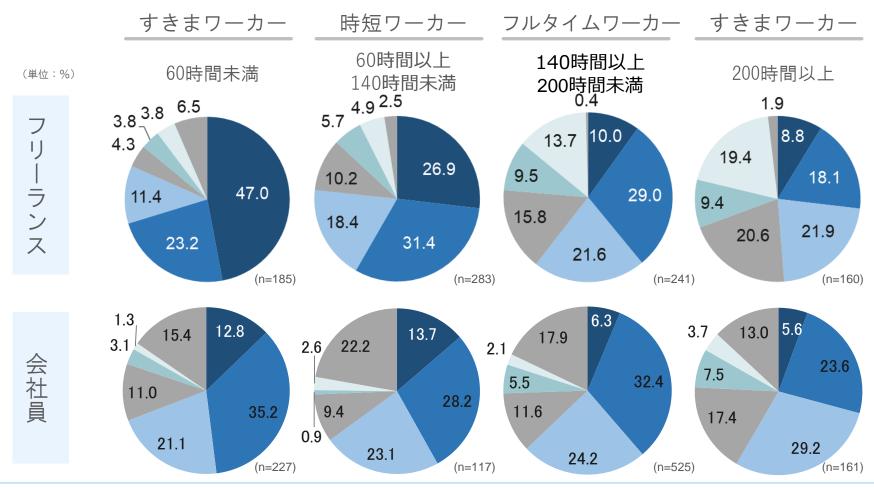
- 月平均勤務時間が60時間以上200時間未満の層の内訳に顕著な差
- フリーランスはいわゆる時短の働き方を選択している人の割合が 会社員より多い



#### フリーランスと会社員の勤務時間別年収比較

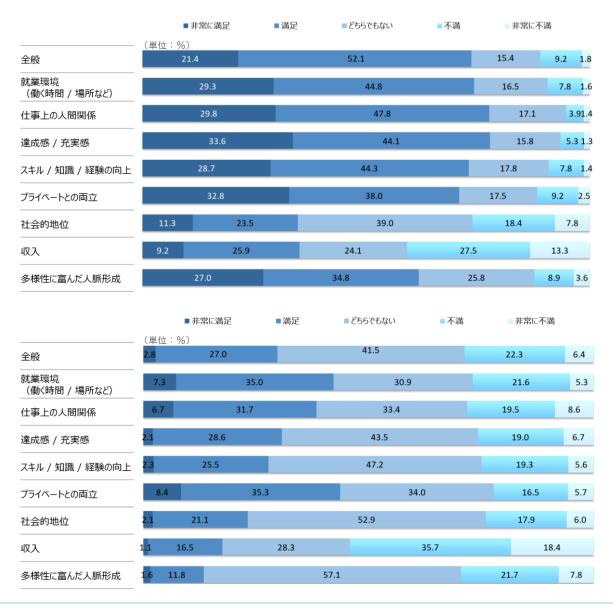


- フリーランスの方が会社員より年収分布が分散している
- 標準的な働き方をするフルタイムワーカーの年収は会社員とフリーランスで大きな差はないが、フルタイムでない場合、年収が200万未満と回答したフリーランスは約3~5割に上るのに対して、会社員は10数%にとどまる



#### フリーランスと会社員の満足度比較





- 全ての項目において、会社員よりもフリーランスの方が満足している人が多い
- 社会的地位を除く 全ての項目において、フリーランスよりも会社員の方が不満足な人が多い

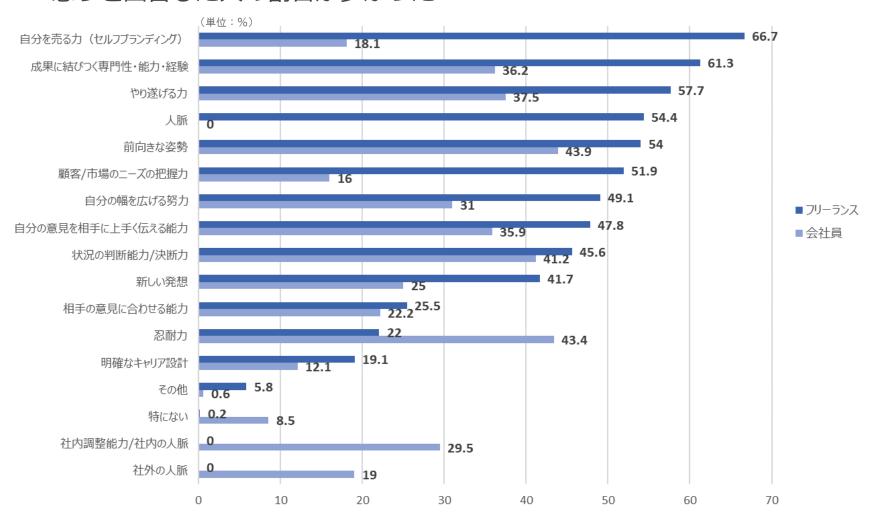
#### フリーランスと会社員のスキルに対する意識比較







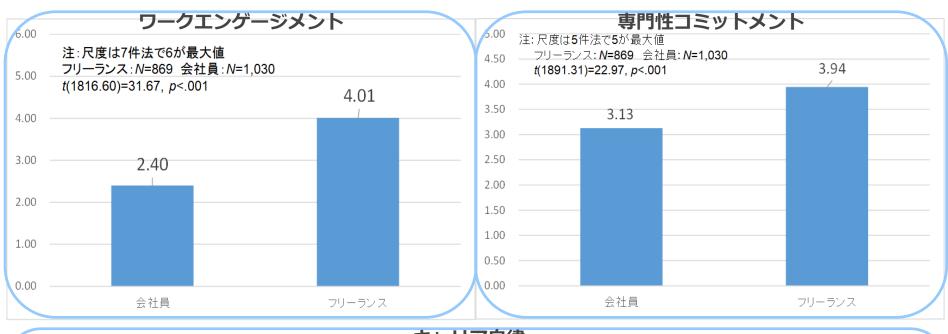
「現在の働き方を続ける/成功させる上で重要だと思うもの」は、2つの 選択肢を除く全てにおいて、フリーランスの方が会社員よりも、重要だと 思うと回答した人の割合が多かった

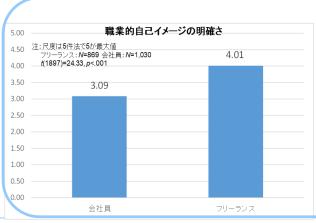


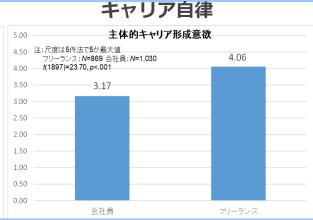
#### ワークエンゲージメントの比較

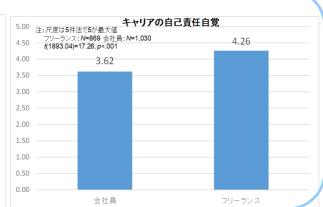


フリーランスの平均値は会社員の平均値(≒従来の日本人の平均値)に比べて かなり高く、国際比較における欧米諸国の水準と遜色ない



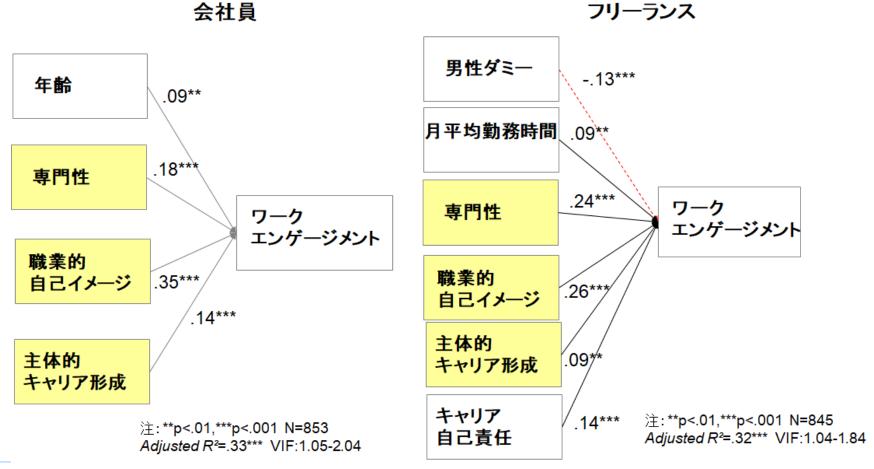






#### ワークエンゲージメントの規定要因分析

- vs vy
- 会社員・フリーランスともに、働く人として、自らの専門性について意識すること、職業的自己イメージを有すること、主体的にキャリア形成すること、という3点がワークエンゲージメントを高める要因となっている
- フリーランスにおいては、キャリア形成は自己の責任だという認識を有することもワークエンゲージメントを高めている





# 企業がフリーランスを 効果的に活用するために

#### より良いフリーランス活用のための8つのポイント



ポイント1 課題/目的の明確化

ポイント2 適切な報酬設定

ポイント3 業務内容・ゴール・期待値の明確化

ポイント4 柔軟なワークスタイル

ポイント5 成果を出すために必要な情報共有

ポイント6 対等な関係性

ポイント7 能力発揮しやすい社内体制

ポイント8 定期的なフィードバック

## フリーランスマッチングサービス カオスマップ



#### フリーランス・副業人材サービス 職種別カオスマップ \*2019年2月現在









事務・クリエイティブ系

Saleshub

企画業務(企画・立案、調査、分析)

#### 取引におけるリスクヘッジ





#### 業務遂行中の補償

- 自転車で配達中に通行人とぶつかり、 ケガをさせてしまう。
- 育児代行等において、 預かった子どもにケガをさせてしまう。
- 家事代行等において、食器等の 家財・備品を壊してしまう。
- うっかり業務上知りえた個人情報を 第三者に話してしまい、 周囲に噂が広まってしまう。(人格権侵害)



#### 利用者に飲食物を提供した結果、

納品物に欠陥があり、第三者にケガをさせてしまう。



- 依頼先やコワーキングスペース等の 借用施設の壁や設備を誤って壊してしまった。
- 預かっていた第三者の財物を誤って壊してしまった。



#### 身体障害や財物損壊が発生しないような業務過誤の補償

#### 情報漏えい

- 納品したシステムに瑕疵があり、 発注先の個人情報が流出した。
- □ フリーランスのパソコンがウイルスに感染し、 企業情報が漏えいし、発注者に営業損失が発生。

#### 著作権侵害

- 発注者へ納品した成果物が第三者の盗用に あたるとされ、第三者から損害賠償請求を受ける。
- 発注者へ納品した成果物が第三者の盗用である として、発注者に営業損失が発生。



損害

賠償

#### 納品物の瑕疵

- データ入力業務を受注したが、商品の 発注数等の入力を誤ってしまったことによる
- 納品したシステムに不具合が生じ、システムの 使用不能期間の代替手段に要する費用が発注者に発生。

#### 偶然な事故による納期遅延

- 発フリーランスの入院による納期遅延のため、 発注者の業務開始が遅延し、 発注者に営業損害が発生。
- フリーランスの職場が罹災し、 納期に間に合わなかったため、 発注者から損害賠償請求を受ける。



#### ①必ず事前合意しておくこと

- ・業務内容・範囲の設定
- · 成果物(納品物)
- 報酬金額
- ・スケジュール、納期
- ・コミュニケーションの 手段と頻度

#### ②賠償責任保険への加入

- ・海外では発注企業がフリーランス に加入を求めることが一般的
- ・フリーランス協会では、 対物対人の事故だけでなく 業務過誤も対象となる 日本初の保険を提供している

#### メンバー紹介



一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会 調査・白書プロジェクトメンバー

調査設計・分析: 河合優香理、城みのり、井上裕之

1章・4章・6章 : 平田麻莉

2章・3章 : 小野曜、平田麻莉

5章 : 田中美和、島崎由真、石井まゆみ (ジョブ創出プロジェクト)

レイアウト調整: 河本恵里子

監修 : 法政大学大学院政策創造研究科教授 石山恒貴

調査委託先 株式会社マクロミル (会社員パネル)